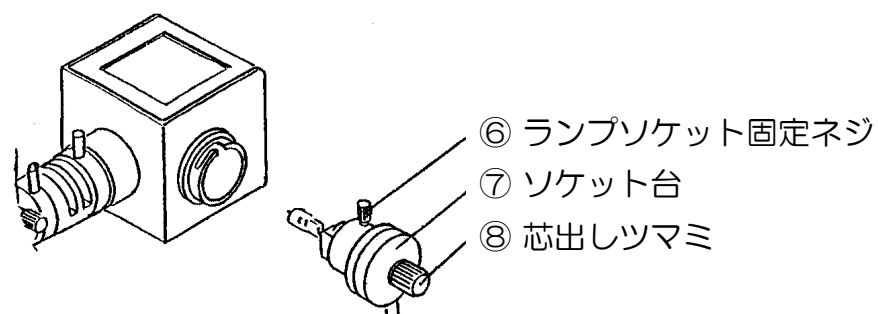


反射照明装置のランプ交換について



【はじめに】

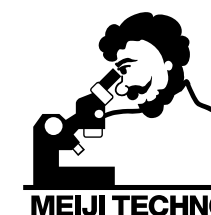
- 必ず指定のランプをご使用ください。
(指定外のランプを使うと、故障や火災・事故の原因となります。)
- ランプを交換する際は、必ず電源を切ってから行ってください。
- 消灯直後のランプは高温のため、触れると火傷をする危険があります。
必ずランプが冷めるのを待ってから作業を行ってください。
- ハロゲンランプを交換する際は、絶対に素手で行わないでください。
⇒ ハロゲンランプのガラス面に、手の皮脂など油性の汚れが付着すると、
ランプの寿命が著しく短くなります。

【交換方法】

- 1) ランプソケット固定ネジ⑥をゆるめ、フランジのキー溝にそって
外側に引き、ソケット台⑦をランプハウスから取り出します。
- 2) ハロゲンランプに指紋などを付けて汚さないように、ポリエチレン袋
ごとランプを持ち、ソケットに止まるまで確実に押し込みます。
ランプを取り付けたらポリエチレン袋を取り除きます。
- 3) ランプ交換後は、必ずランプの芯出し調整を行ってください。

■ スペアランプ

品番：MA326S …… ハロゲンランプ，6V30W（4個入り）



偏光顕微鏡

ML9420, ML9430

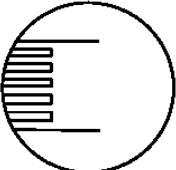
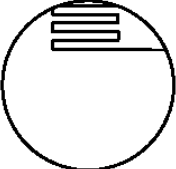
反射照明装置／取扱説明書

照明部（反射ケラー照明）について

1. 電球の芯出しについて

左右どちらか片方の接眼レンズを抜き取り、接眼筒の中をのぞき電球のフィラメントが円の中心にあることを確かめます。もし中心よりずれている場合は、電球の位置を調節します。

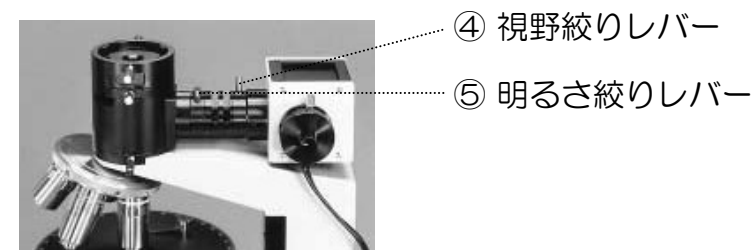
<フィラメントの見え方の例>

- (A)  フィラメントが正しく中心にあり、視野全体が均一な明るさになっている。
- (B)  フィラメントが左に寄りすぎていて、視野の片側半分がやや暗い。
- (C)  フィラメントが上に上がりすぎていて、視野の下半分がやや暗い。



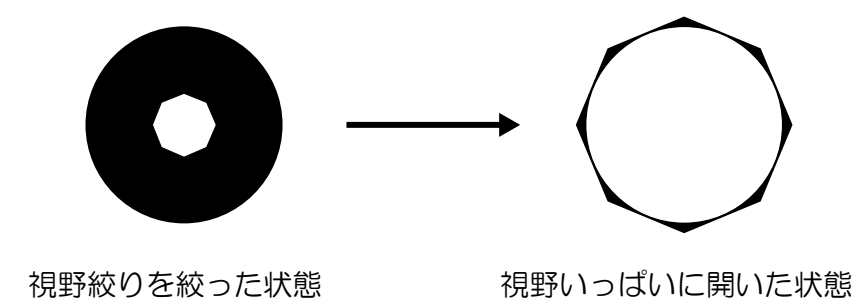
- ① ランプソケット固定ネジ
② ソケット台
③ 芯出しツマミ

- 電球が左右どちらかの方向に片寄っている場合は、芯出しツマミ③を回して、電球を中心に移動させます。
- 電球が上下どちらかの方向に片寄っている場合は、ランプソケット固定ネジ①をゆるめてソケット台②全体を前後に回して電球を中心に移動させます。中心に合わせたら、ランプソケット固定ネジ①を締め固定します。
- 電球の芯出し調整が終わりましたら、接眼レンズを接眼筒に差し込みます。



2. 視野絞りについて

10Xの対物レンズを使用し、試料にピントを合わせた状態で接眼レンズをのぞきながら視野絞りレバー④を少しずつ動かして、視野の中に見える絞り像が視野より少し大きく（外接）なるまで絞りを開きます。



3. 明るさ絞りについて

接眼レンズを抜き取り、接眼筒の中をのぞきます。対物レンズから入ってくる光を見ながら、明るさ絞りレバー⑤を少しずつ動かして調整します。明るさ絞りは使用する対物レンズの開口数に合わせることで解像力・コントラストの良い像が得られる効果があります。

- 明るさ絞りを絞ると分解能と明るさが低下しコントラストと焦点が深くなります。
- 逆に明るさ絞りを開くと分解能と明るさは上がりますが、コントラストと焦点は低下します。
- 一般には明るさ絞りを70～80％に絞ると良好な像が得られます。

上記の視野絞り・明るさ絞りの調節は、使用する対物レンズを換える都度行います。